

<p>第 1 回 (2007.04.13)</p>	<p>図書館情報、および図書館の種類とその機能 大西有三附属図書館長</p>
<p>配布物：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PowerPoint ハンドアウト(40slides, A4, 4p.) ・ 講義構成(A4, 1p.) ・ 授業スケジュール(A4, 1p.) ・ アンケート(A4, 1p.) <p>場所：吉田南 1 号館 311 号室 出席者数：141 名 講義スタイル：Microsoft PowerPoint によるプレゼンテーション 参考文献：紹介なし 質問事項：特になし</p> <p>#講義内容</p> <p>0. イントロダクション 講義に先立って、附属図書館参考調査掛から配布資料の確認、講義の内容およびスケジュール、人数制限を行う旨などの説明があった。</p> <p>1. 大学図書館と internet の比較 ユーザが求めている情報のスピーディかつ確実な提供を目的とする点では、大学図書館と internet は軌を一にしている。では、この internet 時代における大学図書館の役割とはなんだろうか？ Web 上の代表的なサービスとして Google (Earth) を紹介し、それに対する東京大学小宮山総長の『Google は「知」にあらず』という言葉を挙げる。Google は情報を提供してくれるが、それらを編集して新たな情報を生み出すという作業は自らでおこなうしかないという主旨である。</p> <p>2. 京都大学の図書館 大学図書館のミッションは学習図書館機能 = 学生へのサービス、研究図書館機能 = 研究者へのサービス、その他 = 社会へのサービスの 3 つであるという話をし、そのあと京都大学の図書館概要について説明があった。内容は、図書館機構、学内の図書館・図書室の配置、蔵書数、所蔵する国宝・重要文化財のリストなど。</p> <p>3. 学術情報基盤の整備 内容は電子ジャーナルの契約タイトル数、契約データベースのタイトル、国大図協、ILL、Webcat (Plus)、電子図書館、機関リポジトリなど。記録メディアの耐用年数について触れ、マイグレーションの必要がない紙資料は長期的保存に長けているという話も。</p> <p>4. 情報倫理 電子ジャーナルの不正利用（をあらわすグラフを提示）。著作権。図書や論文を引用するときの作法。</p> <p>5. ネットワーク時代における図書館の意義 締め。図書館では Web 上で氾濫しているものとは違う「実の情報」に触れることができ、また、知的空間の雰囲気も味わえる。</p>	